

※この研修は保育士等キャリアアップ研修ではありません

令和6年度

保育所における自己評価ガイドライン研修 開催要項

- ◆目的 令和2年に改訂された「保育所における自己評価ガイドライン」の理解を深めるために研修を行います。ハンドブックの概要のレクチャー、及びワークイメージの紹介など各園でどう活用していくか、あらためて自己評価の意味を考え、学びを深めます。
- ◆日時 第1回 令和6年 7月23日(火) 13時30分～16時30分
(申込み開始日 令和6年 6月18日(火) 13時～)
第2回 令和6年 11月26日(火) 13時30分～16時30分
(申込み開始日 令和6年 10月10日(木) 13時～)
※同一内容で2回実施します。
- ◆会場 横浜市技能文化会館 2階ホール (第1回・第2回共)
- ◆対象者 横浜市内の保育・教育施設に勤務する職員
- ◆人数 各回 100名
- ◆講師 和泉短期大学 教授 松山 洋平 氏
- ◆施設型給付費等に係る研修要件への適否



よこはま☆保育・教育宣言
PRキャラクター
宣言星人 ぴかりん

	処遇改善等加算Ⅱ	職員処遇改善費
保育所・地域型保育事業	×	○
認定こども園・幼稚園	○	○

◆昨年度の受講者の声

保育の質を高める、自己評価と聞くと難しそうですが保育について対話するということは、保育者自身の喜び、困り事について一緒に保育している人と話すことで解決できたりチャレンジしたり前向きな保育へ向かっていけると思いました。そこに写真がプラスされると、もっと対話したくなる他の保育者、保護者とも共有(対話)したくなる、しやすくなると思えました。

保育の「質」は「対話」で決まるという言葉が、とても印象に残っています。目の前の子どもたちが、何に興味を持ち、何を楽しんでいるか、何に夢中になっているか、保育者自身がそこにじっくり視点を置き、自分の感じたことや思ったことを職場の仲間と語り合い、「おもしろいよね」「不思議だよね」「これからどうなるのかな」と子どもも保育者も一緒に活動の変化や動きを楽しんでいきたいです。その為にも、職場の同僚性を高めていけるような風通しの良い関係作りをしていけるようにしたいと思います。

◆申込方法 横浜市こども青少年局の「[横浜市保育・教育施設職員等研修事業](#)」サイトからお申込みください。

研修はお申し込みの受講者のみ受講できます。受講者を変更する場合は「保育・教育支援課 人材育成係」までご連絡ください。

※定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。

横浜市ウェブサイトで検索

保育・教育の質向

検索



【会場研修について】

- ・会場研修の当日は、ご自身の体調を確認の上、ご参加ください。
- ・研修の性質上、グループワークを行います。ご理解のうえ、お申込みください。

★ご確認ください★

【確認事項】

- ・修了証は、受講が確認でき、受講後にまとめを提出された方に後日交付します。まとめは、横浜市電子申請・届出システムにてご提出いただきます。
- ・「研修申し込み」「研修資料等のダウンロード」「受講後のまとめ提出・レポート提出」「修了証のダウンロード」など、期限を設けて対応しています。各期限を過ぎてからは、理由の如何を問わず対応できませんのでご注意ください。また、修了証の再発行はできませんので大切に保管してください。
- ・受講のキャンセル・欠席・遅刻等の場合は、必ず「保育・教育支援課 人材育成係」まで電話連絡をしてください。

◆会場案内



横浜市技能文化会館

(住所) 横浜市中区万代町2-4-7

- 横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町駅」2番出口から徒歩3分
- JR「関内駅」南口から徒歩5分

こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成係
電話 045-671-2397